

②東京ブランドアイコンのデザインマニュアル

※本デザインマニュアルでは、東京ブランドアイコンを「アイコン」、
東京ブランドアイコン「東京応援アイコン」を「東京応援アイコン」と表示します。

目次

②-1	東京ブランドアイコンについて	1～
②-2	東京ブランドアイコンの展開カラー	2～
②-3	東京ブランドアイコンの展開カラーと背景色	3～
②-4	東京ブランドアイコンのアイソレーション	5～
②-5	東京ブランドアイコンの最小使用サイズ	6～
②-6	東京ブランドアイコンの使用禁止例	7～
②-7	例外利用について	8～
②-8	東京ブランドアイコン「東京応援アイコン」について	10～
②-9	東京応援アイコンの展開カラー	11～
②-10	東京応援アイコンのアイソレーション	12～
②-11	東京応援アイコンの最小使用サイズ	13～
②-12	東京応援アイコンの使用禁止例	13～
②-13	東京応援アイコンと企業ロゴを併記する場合	14～

アイコンキャッチフレーズに込められたメッセージ

Tokyoを異なる文字で繰り返し、東京のイメージを印象づけるデザイン。

筆文字のTokyoとゴシック体のTokyoは、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存している東京の特色を表現している。

そうした部分をOld meets Newでも重ねて強調。伝統の部分は墨で、先進性は未来へ広がる青い空をイメージしたブルーで表現している。

また、東京の新しい観光名所である渋谷のスクランブル交差点をイメージした「落款」をデザインして付けてある。

東京ブランドアイコン

基本形 1 Old meets New アリ



展開形 1 Old meets New アリ



基本形 2 Old meets New ナシ

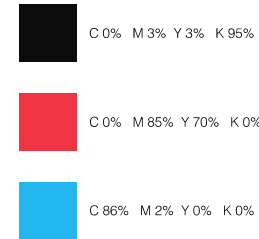


展開形 2 Old meets New ナシ



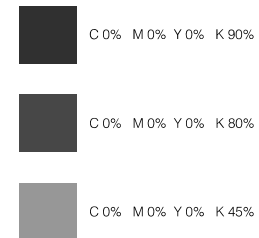
メインカラー

Tokyo Tokyo Old meets New



モノクロ表示

Tokyo Tokyo Old meets New



Tokyo Tokyo Old meets New



東京ブランドアイコンの展開カラーと背景色

落款は可能な限り、視認性を損なわないように、下記よりふさわしいものを使用してください。「落款」はできる限りヌキ表示を優先して使用して下さい。場合によっては、白背景アリの使用も可です。視認性が保たれているかどうかチェックし、適切なものをご使用ください。

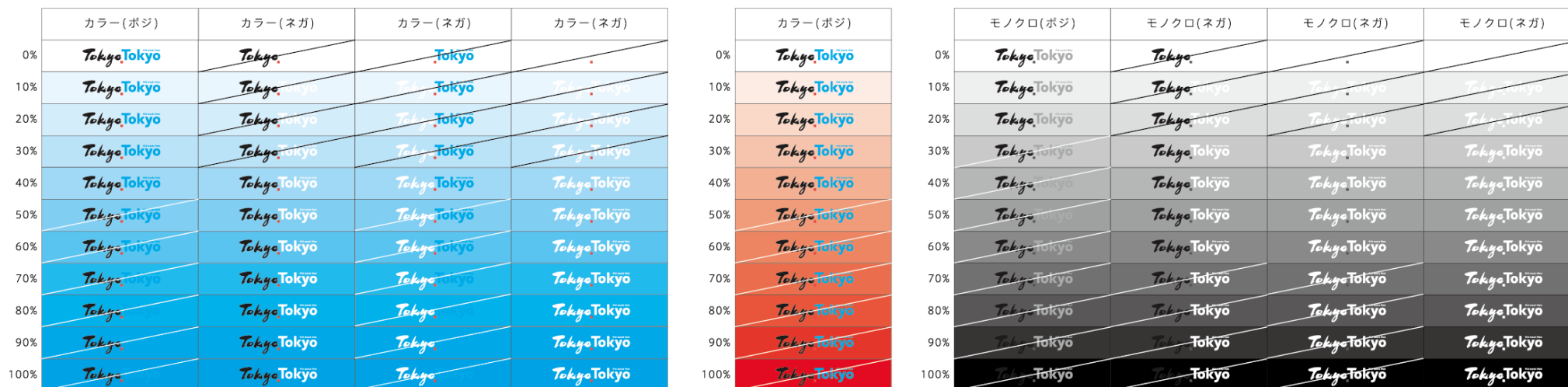
アイコンをカラーで ご使用する場合 落款 ヌキver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				
アイコンをカラーで ご使用する場合 落款 白背景アリver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				
アイコンをモノクロで ご使用する場合 落款 ヌキver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				
アイコンをモノクロで ご使用する場合 落款 白背景アリver.	Old meets New アリ				
	Old meets New ナシ				

②-3 東京ブランドアイコンの展開カラーと背景色

東京ブランドアイコンの展開カラーと背景色

下図は、白以外の様々な濃度の背景色（また写真など）にアイコンを表示する際のイメージを示しています。

背景色の濃度によっては、アイコンの視認性が悪いため、表示できないカラー展開もあることに留意してください。



アイソレーション（保護エリア）

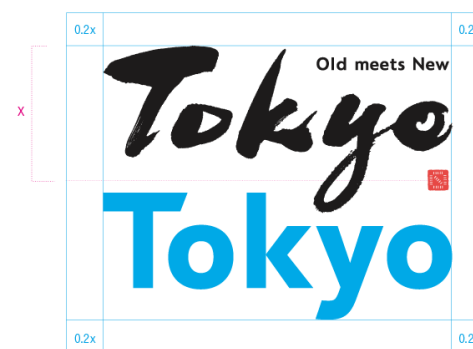
アイコンの表示は独立性、識別性をもって行うことが重要です。そのため、表示する際にはその周辺に一定のアイソレーション（保護エリア）を設け、この領域内には他のデザイン要素や文字など表示してはいけません。

下図に示したのは、確保すべき最小限の保護エリアですが、表示にあたっては可能な限り大きな余白スペースを設けるよう配慮してください。

基本形 1 Old meets New アリ



展開形 1 Old meets New アリ



基本形 2 Old meets New ナシ



展開形 2 Old meets New ナシ



アイコンの表示の最小使用サイズは下記までとします。



このページには、アイコンを表示する上で誤りがちな使用例を表示しています。
一貫したブランドコミュニケーション展開を行うためにも、アイコンの誤用は避けてください。



太さを変えてはいけません



カラーシステム以外の色に変更をしてはいけません (単色表示も不可)



印刷物等において3D表現をしてはいけません



変形してはいけません



印刷物においてシャドウをつけてはいけません



一部だけを使用してはいけません



書体を変えてはいけません



タテ組みを制作してはいけません



規定されている以外に文字組、バランスを変えてはいけません



アウトライン表示やフチで囲ってはいけません



パースをつけて表示してはいけません



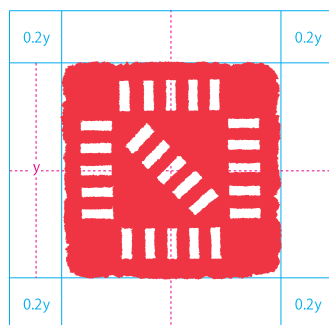
他要素やマークをロゴの上に重ねてはいけません

知事が認める場合は以下の利用方法を認めるものとする。

「落款」「Old meets New」は、単独使用が可能です。

「落款」のみの使用について

アイソレーション（保護エリア）



最小使用サイズ



最小使用サイズ



上図に示したのは、確保すべき最小限の保護エリアですが、表示にあたっては可能な余白スペースを設けるよう配慮してください。

展開カラーについては、「東京ブランドアイコンの展開カラーと背景色」に従ってください。

ひとつのアイテムの中であれば筆文字とゴシックとを分割することも可能です。



東京応援アイコンに込められたメッセージ

東京都は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、東京を活気づけていく旗印として東京ブランドアイコンを活用した「東京応援アイコン」を制作しました。

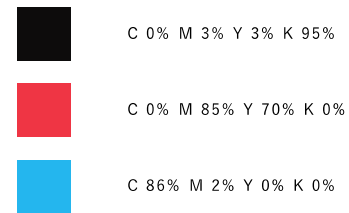
東京全体で一丸となって東京を盛り上げ、前に進んでいきたい。そんな想いを旗のモチーフに込めています。

東京応援アイコン

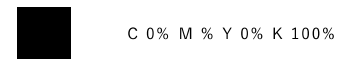
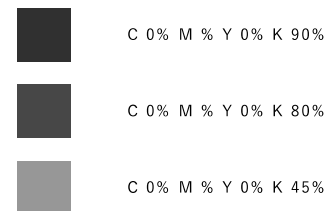


展開カラーと背景色に関しては東京ブランドアイコンの展開カラーと背景色（3-）に準じます。

メインカラー



モノクロ表示



アイソレーション（保護エリア）

アイコンの表示は独立性、識別性をもって行うことが重要です。そのため、表示する際にはその周辺に一定のアイソレーション（保護エリア）を設け、この領域内には他のデザイン要素や文字など表示してはいけません。

下図に示したのは、確保すべき最小限の保護エリアですが、表示にあたっては可能な限り大きな余白スペースを設けるよう配慮してください。



アイコンの表示の最小使用サイズは下記までとします。

企業ロゴと併記する場合（13-）もこの最小サイズ以下の大きさにならないようにしてください。



20mm

東京ブランドアイコンの最小サイズ



20mm

東京応援アイコンの最小サイズ

②-12東京応援アイコンの使用禁止例

東京ブランド応援アイコンの使用禁止令（6-）に準じます。

企業ロゴとの併記方法①

企業ロゴと併記する場合も規定のアイソレーションエリア（10-）を守り、東京応援アイコンの高さを超える大きさにしないようにしてください。



企業ロゴとの併記方法②

下図のように旗の下に東京ブランドアイコンと併記することも可能です。

この場合、ブランドアイコンのアイソレーション（4-）を守り、東京ブランドアイコンを企業ロゴが同じくらいの見え方になるよう並列に配置してください。

フラッグ下のアイコンは併記する企業ロゴとの兼ね合いから位置を調整することもできます。詳細については次ページをご参照ください。



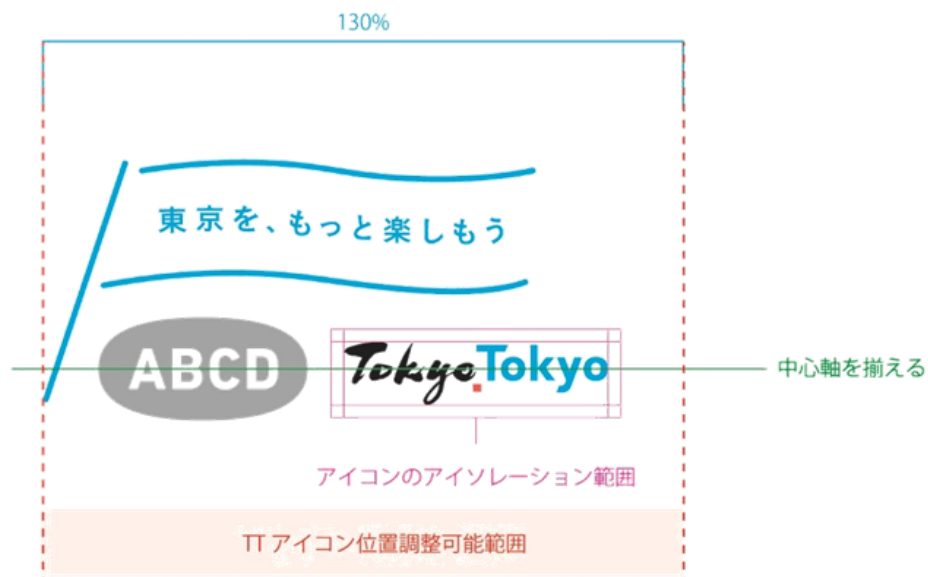
併記方法②の調整可能範囲、企業ロゴサイズについて

併記される企業ロゴの形によって、アイコンの位置を調整することができます。

調整可能範囲はフラッグの左端から右に向かってフラッグの幅の130%までの範囲とし、併記される企業ロゴとアイコンの中心軸が同じになるように配置してください。

アイコンは左右移動のみ可能とし、上下位置の調整は行わないでください。

企業ロゴは、フラッグに接触しないサイズで配置してください。この範囲で併記が難しい場合は企業ロゴとの併記方法①の利用を推奨します。



東京ブランドアイコンのデザインマニュアル Ver.05

作成日 令和3年3月31日

本ガイドラインの一部または全部を発行者の事前承認なしに改編することを禁じます。
本ガイドラインに記載された内容は予告なしに変更されることがあります。